



県民と道交法との橋渡し！

運転免許試験課 免許係
平成26年採用 主事
福岡西陵高等学校 卒業

警察行政職員になったきっかけは？

テレビの警察密着番組が大好きで、警察官に憧れを持っていました。しかし、運動が苦手なため、警察関係の仕事の中で私にできる仕事はないかと調べました。すると、警察行政という職種があることを知り、警察官の活動を支える縁の下の力持ちのような存在で、業務によっては警察官と同じ仕事ができることを知り興味が湧きました。また、福利厚生も充実し、育児休業や夏季休暇等の休暇制度も整った魅力ある職場であると思い、福岡県職員採用試験の警察行政を志望しました。

印象に残っているエピソードを教えてください。

免許係では、運転免許の更新や再交付、免許証の記載事項の変更の手続き等を主な業務としていますが、私の担当業務のひとつに、運転適性相談という相談を受理する業務があります。

運転適性相談とは、一定のご病気を患っている方から病気の症状等について聴取をしたり、運転するときに条件を付ける仕事です。

以前、運転適性相談を受けに来られた方は、脳梗塞になり、身体に少し麻痺がある方でした。それまで毎日運転をしていて、ドライブが趣味であったというその方は、脳梗塞になった後も運転ができるのか、とても不安に思っておられました。運転適性相談で、私が対応した際に、運転に対し支障等もないことから、「運転をしても大丈夫ですよ。」と笑顔でお伝えしたところ、「よかった。よかった。ありがとうございます。」と目に涙を浮かべて帰られたことがとても印象に残っています。今後たくさんの方が運転適性相談を受けに来られると思いますが、県民の立場に立って、笑顔と会話で不安を取り除き、安心して私を頼っていただけるような対応を心掛けたいと思います。

職場環境について教えてください！

職場の雰囲気はとても良く、何かあればすぐに上司や先輩に相談できるので、わからないことや不安に思った事は全くなく、安心して仕事できています。

普段の業務では、県民への行政サービスが主な仕事ですので、人との会話が好きな人にはオススメの職場だと思います。

また、女性の多い職場ですので、仕事以外の相談もしやすく、学べることもたくさんあります。

警察行政職員を目指す方にメッセージをお願いします。

就職活動中の皆さんは、仕事に対する期待や不安など様々な気持ちがあるとは思いますが、

「警察」という組織は、外から見ると、堅く重苦しいイメージがあると思いますが、実際に働いて思ったことは、とても温かい職場で、上司や先輩方が快くサポートしてくれますので、仕事に対しては、積極的に生き生きと取り組むことができます。

自分の個性を最大限に活かせるこの温かい組織で、警察行政職員として一緒に働きませんか。